

ニュース 赤十字防災セミナーで、DIG(災害図上訓練)を実施しました

12月10日枝川コミュニティセンターで、日本赤十字社高知県支部の協力のもと、枝川地区自主防災会連合会主催の防災研修が実施されました。

DIG(災害図上訓練)では、大雨による災害を想定して行いました。

枝川小学校区内の各地区の地図を使用し、地域の浸水しやすいところや土砂災害危険箇所、避難所、防災に役立つ施設や人、要配慮者などの情報を落とし込み、地域の強さや弱さを地図でとらえることにより、改めて自分たちの住む地域の特性について確認することができました。

その後、バンダナを使用した応急処置の方法や、日赤奉仕団のご協力のもと、ハイゼックス(非常用炊飯袋)を使用した少量の水でご飯を炊く訓練を実施しました。

日本赤十字社は、災害発生時に、被災地に職員を派遣し応急救護活動や被災地での支援活動を行うことはもちろんですが、平時から、地域防災力向上のために様々な研修を

実施しています。

町としても、今後も日本赤十字社と協力しながら、各種研修に取り組み、地域防災力向上につなげたいと考えています。



弾道ミサイルが発射された場合の情報伝達と取るべき行動について



● Jアラートについて

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する場合は、弾道ミサイルは極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。仮に、弾道ミサイルが日本に飛来する可能性がある場合には、政府としては、24時間いつでも全国瞬時警報システム(Jアラート)を使用し、緊急情報を伝達します。

● Jアラートによる情報伝達の内容

Jアラートが活用されると、防災行政無線でサイレン音とともにメッセージが放送されます。メッセージは日本語でのみ放送されます。

また、携帯電話にミサイル

の発射情報を伝える緊急速報メール・エリアメールが配信され、着信音が鳴ります。

なお、株式会社NTTドコモのサービスを受けるアンドロイド端末では、Jアラートの情報を、英語、中国語(簡体)及び韓国語で受信することが出来ます。

● 知覚した場合に取るべき行動

もしJアラートや緊急速報メール・エリアメールのメッセージを受け取ったら、落ちていて、直ちに以下の行動をとってください。

【屋外にいる場合】

近くの建物の中か地下に避難。
できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くなければ、それ以外の建物でも構いません。

【近くに建物がない場合】

物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

【屋内にいる場合】

窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

● 近くにミサイルが落下した場合

もし近くにミサイルが落下した場合は、以下の行動を取ってください。

【屋外にいる場合】

口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。

【屋内にいる場合】

換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。
※詳細は内閣官房 国民保護ポータルサイトでも確認できます。

http://www.kokuminhogo.go.jp/shiryu/hogo_manual.html

